

フェロートラベル・ロイヤルカスタマー会員情報誌[6号]  
Travel New Style [ウイズ・エフ]

# with F

vol.6 2006

Tyrol Special Guide ▶▶▶▶ 神田美智子

## 素朴な田舎の魅力にふれる

オーストリア・チロル～イタリア・南チロルへのスキー旅～

【フェロースタッフによる現地最新レポート】

THE GUIDE OF NEW DESTINATION & JOYFUL CONCEPT TOURS

SPAIN / ITALY / AUSTRIA / SOUTH AMERICA  
/ CHINA / SWITZERLAND / CANADA

【こだわりのホテル特集】

ホテル・ミラポー / ホテル・ベラトーラ  
/ バンフスプリングスホテル / シャトーレイクルイーズ

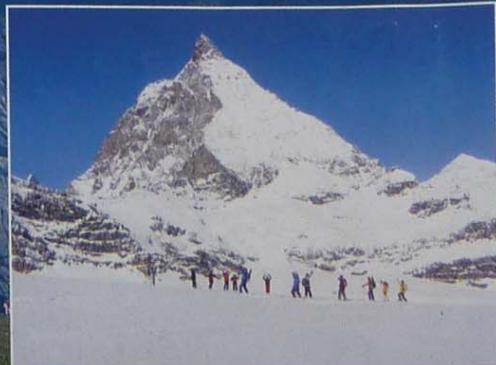
ロイヤルカスタマーの海外旅行体験記

【特別寄稿】

渡辺一樹 / 中田良子 / 我満嘉治  
/ 吉田幸一 / 杉山 進

【人気ガイド紹介】

佐々木亜津美 / 澤 宏太郎



# 生涯スキーヤー「柏ダイヤモンドスキークラブ」

## 「基本技術で原石を磨き、健康でいつまでも光り輝くダイヤモンドを目指すクラブ」

沓掛忠夫さん（千葉県・柏ダイヤモンドスキークラブ会長）



スーパーロミテの岩峰そば、クラブ全員で記念撮影

**平均年齢は65歳の熟年クラブ  
体力、精神力共に自信あり**

千葉県北東部、常磐線沿線の柏市は人口40万人近い都心のベッドタウンで、Jリーグ「柏レイソル」の本拠地としても有名です。この柏市が主催する「柏市民スキー教室」は、40年以上に渡って続いているスキー好き市民のためのスキー教室。そのOB、OGたちがスキー教室で習った技術を活かし、自分たちが企画してスキーをやるとういう声も誰ともなく上がり始まったのが「柏ダイヤモンドスキークラブ」です。それは今から18年前のことでした。

雪山の無限の魅力をスキーに託して、自然の雄大さの中で健康の喜びを共にし、自然の恩恵に感謝し、大自然との融合を目指しながら仲間が「喜びを共有すること」がクラブ会員共通の活動目標です。「スキーを楽しむ」ために、基本技術で原石を磨き、一人ひとりが健康でいつまでも光り輝くダイヤモンドを目指すクラブ。これが我々のクラブ命名の由来になります。

現在会員は80名余り。女性40歳、男性45歳以上がクラブの入会資格で、現在の平均年齢は65歳、最高年齢は75歳です。皆貪欲に雪山を求め、毎シーズン国内スキーに4回、海外スキーに1回出かけています。北海道の富良野・朝里川、ニセコ、ニセコアンスプリ、志賀高原、奥志賀、蔵王など、白銀の世界に魅せられて、2000年からは海外スキーにも出かけるようになりました。皆寄る年波を忘

れて、熱中、集中力、根気は決して20歳代の若者に負けません。さらに夏場はテニスにゴルフにと、とにかく体を動かすことが大好き。「おい」とか「病気」といった言葉は、メンバーにとってはほとんど無縁です。

**国内スキーツアーでは物足りず  
海外スキーが毎年の楽しみ**

海外スキーは、もともと2年毎の計画でしたが、あまりに楽しくて最近は毎年恒例になってしまいました。きっかけは、10年間のヨーロッパに駐在で現地に精通している千葉がい。初めて訪れたツェルマットで彼の素晴らしい



沓掛会長と現地で知り合った陽気なイタリア娘

# ロイヤルカスタマーの 海外旅行体験記



言葉は違っても歌と踊りは万国共通だ

今回宿泊したホテルドリエステの老父は、札幌オリンピックのリュージュ競技の選手役員として活躍されたとのこと。最終日の夕食会でそのときの貢献に敬意を表し、柏首頭のテープに合わせて日本の踊りを披露。会員全員とホテルのスタッフと共に踊り、実に和やかな時間を過ごしたのも、忘れ難い有意義な思い出として今も脳裏に焼きついていきます。

しいガイド振りにとっふりハマリ、いつも同行をお願いしています。豊富な山の知識といつも絶やさぬ笑顔、そして偶然にも同じ柏市の出身であることが我々の「ご指名」の大きな理由です。その海外もツェルマツト、ウイスキー、グリーンデルワルト、ドロミテと4回を数え、毎回30名もの人数が参加するようになっています。2007年はフランス・シャモニーにツアー催行が決定し、今からメンバー全員心待ちにしています。それでは今年の海外スキー研修、イタリア、ドロミテの報告をご紹介します。

ドロミテスキー場は、奇岩の山々がつくる12の谷間に450のケーブルとリフトがあり、総延長12200kmという広大なスキー場が連なります。ここは1956年、コルチナ・ダンベツツオ冬季オリンピックで猪谷千春が、男子回転競技で日本の冬季オリ

ピック史上初の銀メダルを獲得したスキー場。同じコースを滑降できたのは、まさに夢の実現でした。フェローの千葉さんと諏訪さんのガイドで、2組に分かれて毎日異なる斜面を案内してもらい、平らな斜面が多いドロミテのケレンデで安全にかつ楽しく滑ることができました。毎回違うリフトに乗るため、景観が変わり目を楽しませてもらいましたが、すぐに滑り出すのでシャッターを押すのが大変でした。

スキー場の斜度は最大35度強、大体滑る斜度は25度程度で、幅は広い所では40〜50mはあり、ゆったりと滑ることができました。リフトの乗り場近く、または他のスキー場に移動する地域は穏やかな斜面でした。滑走距離としては最大5〜6kmの長い斜面を毎日5〜6時間程度滑り、1日で20km以上滑ることができました。それでも6日間のスキー滑走で、ドロミテ全体の1割程度しか滑ったことにはならず、改めてドロミテスキーパークエリアの広大さを実感できました。

今回宿泊したホテルドリエステの老父は、札幌オリンピックのリュージュ競技の選手役員として活躍されたとのこと。最終日の夕食会でそのときの貢献に敬意を表し、柏首頭のテープに合わせて日本の踊りを披露。会員全員とホテルのスタッフと共に踊り、実に和やかな時間を過ごしたのも、忘れ難い有意義な思い出として今も脳裏に焼きついていきます。



海外スキーに出かける度に若返る。皆さん、ますます元気です！